

# 熊本市の基本情報

- 人口 73.7万人(2024年6月現在)
- 面積 390.3 km<sup>2</sup>
- 熊本市消防局救急出動件数 46,063件(令和5年、過去最多)
  - R5 救急隊数 25隊(日中+2隊)
  - R5 病院照会4回以上 (10.10%)
- その他、地域の特徴等
  - 九州のへそ
  - 熊本県の人口(169.8万人)の約半数が熊本市に集中
  - 高齢化率 27.1%(令和5年)
  - 周辺から熊本市への管外搬送の割合には地域差がある

# 熊本市の救急医療体制の概要

## • 三次救急

- 熊本赤十字病院、済生会熊本病院、熊本医療センターの3救命救急センターと熊本大学病院

## • 二次救急

- 救急告示病院数；43病院、輪番制；5病院(3救命救急センターを含む)

## • 一次救急

- 休日夜間急患センター(熊本地域医療センター);開業医・常勤医師・大学病院医師が三位一体で協力して行う「熊本方式」で運営
- 休日準夜急患診療所(熊本赤十字病院);24時間365日運営だが熊本市での表記は「日曜・祝日の18時～24時」のみ
- 休日当番医;日曜・祝日 8時～18時

## • その他、特徴的な点

- 3救命救急センターが輪番で熊本市消防局の派遣型救急ワークステーションを設置
- 熊本型ヘリ救急搬送体制はドクターヘリと消防防災ヘリの2機協力体制

# 熊本市の救急医療の問題点、良い点など

## • 問題点

- 救命救急センターの救急医が減ってきている
- 2次救急の輪番制は機能しているとは言えない
- 開業医の高齢化により休日夜間急患センターの医師確保が困難となっている

## • 良い点

- 夜間コールセンターによる電話相談が可能
- 2次救急病院が下り搬送の受け入れに積極的になってきている
- 働き方改革による影響は現在のところ大きくはない

## • 特別な取り組み、現在進行形の事業など

- 病院前救急のDX化に向けて、県下統一のツールを来年度より導入予定